

乃木坂46 そして 女優としての 夢を追いかけて

富士青春市民

乃木坂46・若月佑美さん
スペシャルインタビュー



広報ふじでは、毎月20日号で「いただきへの、はじまり」を胸に頑張る“富士青春市民”を紹介しています。

9回目を迎えた今回は「富士青春市民スペシャルインタビュー」として、富士市出身の超人気アイドルグループ・乃木坂46の若月佑美さんをご紹介します。若月さんも富士青春市民（青春市民No.1000）です。学生時代の様子や富士市への思いなどを語ってくれました。必見です！



若月佑美（わかつき ゆみ）平成6年6月27日生まれ。富士市出身。アイドルグループ・乃木坂46の第1期メンバー。平成29年末、楽曲「インフルエンサー」で日本レコード大賞受賞。NHK紅白歌合戦3年連続出場。女優業も好評で、舞台を中心に活躍。画家としても6年連続で「二科展」に入選するなどマルチに活動中。愛称はみゅうみゅう、若様。

若月さんにとつての「いただきへの、はじまり」エピソードと、現在の夢を教えてください。

私は、作品づくりが好きで、お芝居や音楽映像、写真や絵画など「表現をする」ということが大好きです。小さいころに見た舞台で抱いた憧れの感情や、美術の時間に自分が描いた絵に感想をもらったときの「届け手」としての喜びの感情などから、自分自身がツールとなって多くの人の感性を豊かにしたり、視野を広げるきっかけになったりする仕事を将来できたらすてきな、と思っていました。ただ、この思いは年を重ねるにつれ現実を知り、心の隅に小さく置いたままになっていました。それなりに勉強をし、それなりに部活をし、流れるままにそれなりの進学をするのが、もしかしたら最良じゃないか、なんて思うようにもなりました。

しかし、進路を考えていた高校2年の春、「どうせそれなりに生きるなら、何か大きなチャレンジをしてからでもよいのではないか！」とふと思ひ、「今やらないうでいつやるのだろうか！」「将来、後悔するのだけは嫌だ！」と、乃木坂46のオーディションを見つけ、勢いのままに応募しました。今考えれば、この不安定な夢を勝負もなく追ったことは、なかなかのかけでした。私だけでなく家族にもかかわることですし、大きく自分の生きる世界を変えてしまう夢だったのです。

正直、アイドルとして活動している今、楽しいことやうれしいことばかりでな

く、つらいことや苦しいこともたくさんあります。でも今の私は「あのときチャレンジしてよかった！」「正解だった！」と胸を張って言えます。小さいころに見つけた、自分の中の「唯一」を大切にできたのかな。

夢を追って上京してもう7年目になりますが、小学生のころにロゼシアターでバレエの発表会をやったこと、今でも鮮明に覚えています。大ホールだったかな。ワクワクしながら会場に向かい、本番もとても楽しく演じていた気がします。あのころから、ステージという場所がすごく好きだったのだと思います。同じロゼシアターでよく開催されていた絵画の展示会も好きで、家族で足を運んでいました。あのときのそこで感じた何かが、私の心を動かして、表現することのすばらしさを知りました。

今思えば、私の夢につながるいろいろなきっかけは地元からももらったものだったのかもしれない。感謝ですね。今は新しい地でいただいた「女優」という夢を追っている最中です。

ふるさと・富士市について

私は最近、お仕事先で静岡県にゆかりのある方とご一緒することが多いです。それはヘアメイクさんやカメラマンさん、制作スタッフさんや編集さんなど、さまざまなジャンルの方々です。その上偶然なのか何かが引き合わせているのか、静岡県の中でも富士市出身だったり、富士市に住んでいたことがあったり、両

私の夢につながるきっかけ：

富士市には感謝です

親が富士市出身だったり、富士市に何かしら縁のある方が多かったです。上京してからいろいろな地域の方と接する機会がふえましたが、富士市はこんなにも自分の夢を見つけて頑張っている人をたくさん輩出しているまちだったんだなあと、なんだか地元が誇らしくなりました。そんな方々とよく話すのは、富士市ってなんだかんだ、ほっとするまちだということ。

大きな遊園地があるわけでもない、銀座のようにブランドショップが建ち並んでいるわけでもない、渋谷のように夜遅くまで明るいわけでもないです。でも、夢を追って地元を飛び立って、社会と戦っている。無意識に空間とも戦っている。少し休憩したときもある。そんなとき、ほっとしに帰りたくなる優しいまち。私はそう思っています。

そんな、温かいまち・富士市で育った皆さんの夢を応援しています。私ももっともっと頑張りますね！

皆さんも、登録しませんか？
富士青春市民大募集中！



We are 青春市民!!

問い合わせ

シティプロモーション課

☎55-2958 ☎51-1456

✉so-citypro@div.city.fuji.shizuoka.jp